



# ～ 技術資料 ～ 通信ポート

資料をご利用の際にはWebサイトをご確認いただき、最新の技術資料をお使いください

## 資料の目的

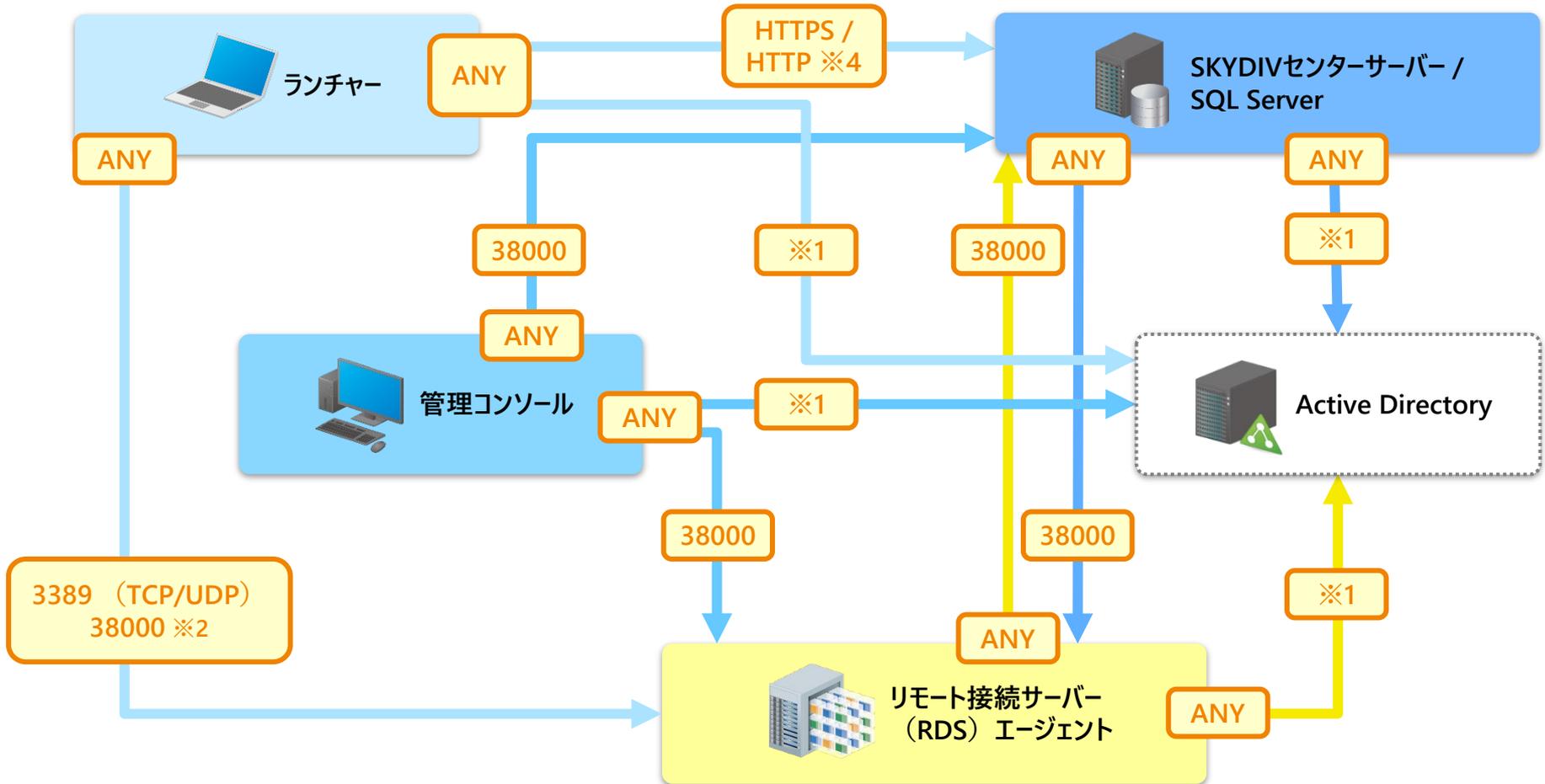
- SKYDIV Desktop Clientで使用するポートをご確認いただくための資料です。
- 資料更新日時点のSKYDIV Desktop Client最新バージョンでの対応状況となります。
- 記載内容は初期値を表しております。

●SKYDIV および SKYDIV Desktop Client は、S k y 株式会社の登録商標または商標です。●SQL Server、Azure および Windows は、Microsoft Corporationの登録商標または商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。

# 通信の流れ -1-

## ■ SBC (RDS) 環境

ポート番号  
無印=TCP通信、(UDP)=UDP通信



※1 Active Directoryへの通信で必要となるポート番号を利用します。

(ランチャーからActive Directoryへの通信は、パスワード変更機能を利用時のみ必要となります。通信不可の場合は、センターサーバーを介してパスワード変更を行います。)

※2 ランチャー (MacOS) からのリモート接続時と、ランチャー (MacOS, Linux) からファイル無害化機能を利用する際に利用します。

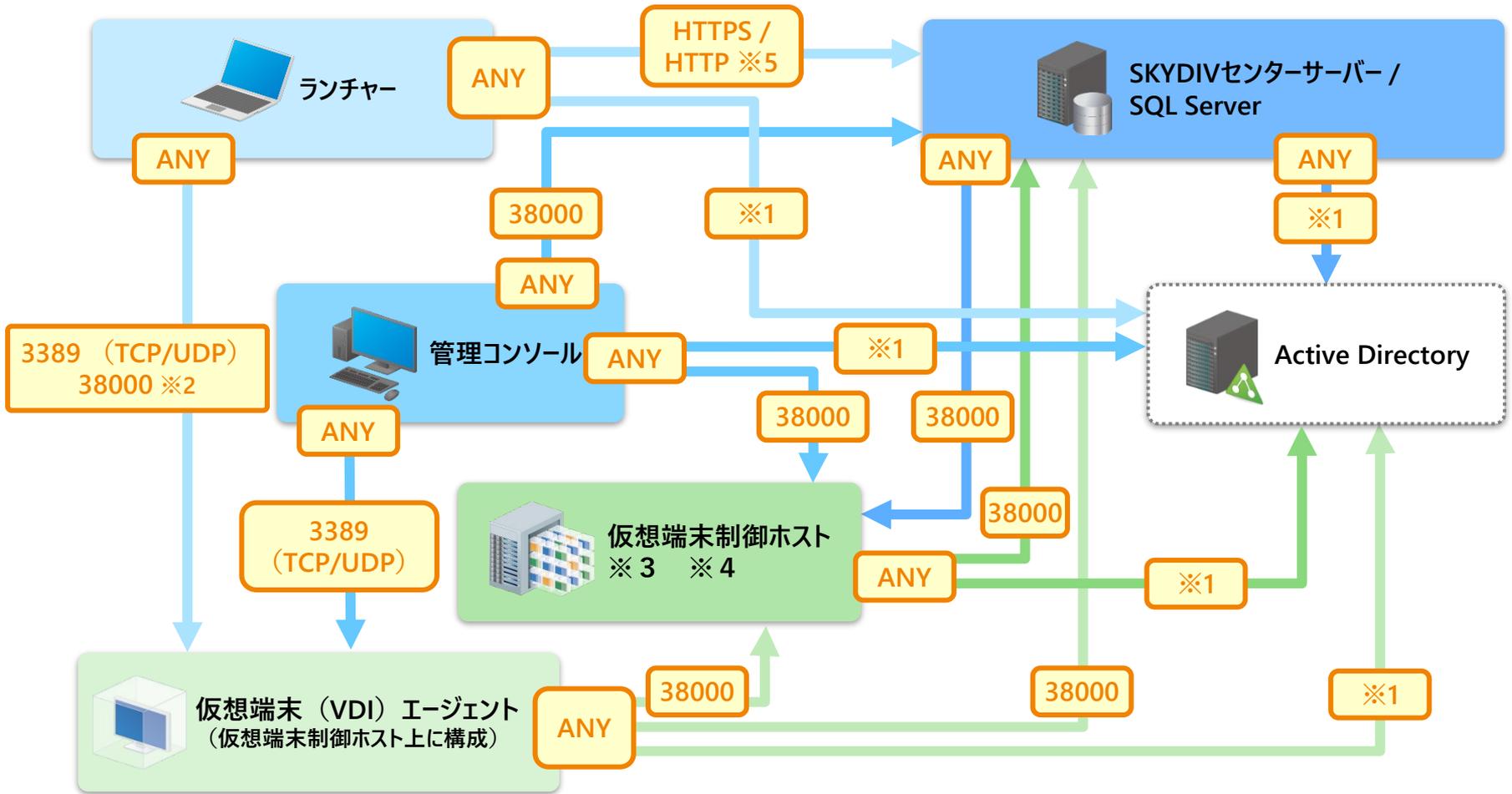
※3 RDライセンスサーバーとリモート接続サーバーエージェント間の通信については、Windowsで必要なポート番号を利用します。

※4 HTTPS / HTTP で利用するポート番号は任意の番号に指定可能です。

# 通信の流れ -2-

## ■ VDI環境

ポート番号  
無印=TCP通信、(UDP) =UDP通信



※1 Active Directoryへの通信で必要となるポート番号を利用します。

(ランチャーからActive Directoryへの通信は、パスワード変更機能を利用時のみ必要となります。通信不可の場合は、センターサーバーを介してパスワード変更を行います。)

※2 ランチャー (MacOS) からのリモート接続時と、ランチャー (MacOS、Linux) からファイル無害化機能を利用する際に利用します。

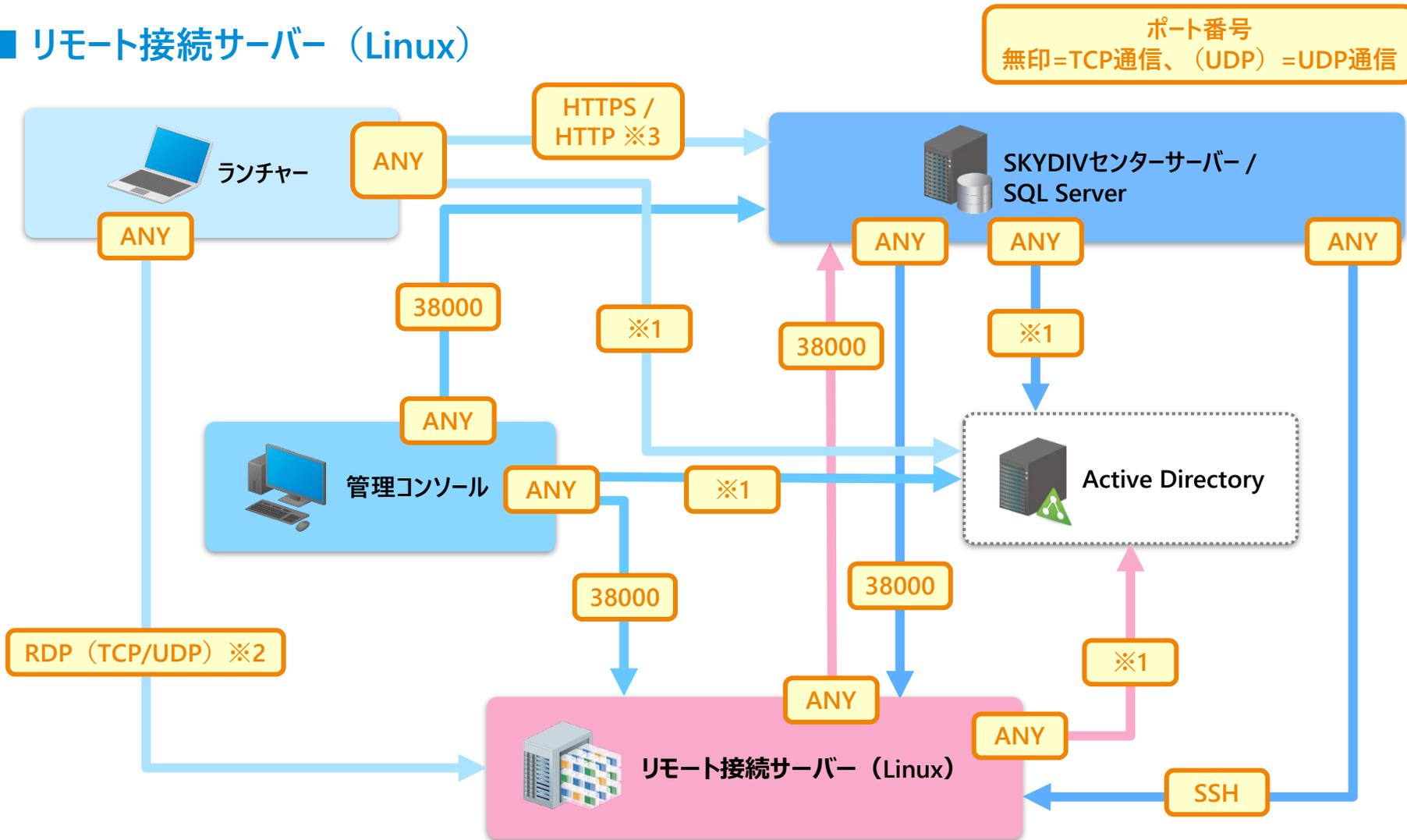
※3 Windows フェールオーバークラスタ環境の場合、仮想端末制御ホスト間で、ポート番号38000及びWindowsに必要なポート番号を利用します。

※4 複数台の仮想端末制御ホストがある環境でVDIを利用される場合、仮想端末制御ホストサーバー間で445ポートを利用します。

※5 HTTPS/HTTP で利用するポート番号は任意の番号に指定可能です。

# 通信の流れ -3-

## ■ リモート接続サーバー (Linux)



※1 Active Directoryへの通信で必要となるポート番号を利用します。

(ランチャーからActive Directoryへの通信は、パスワード変更機能を利用時のみ必要となります。通信不可の場合は、センターサーバーを介してパスワード変更を行います。)

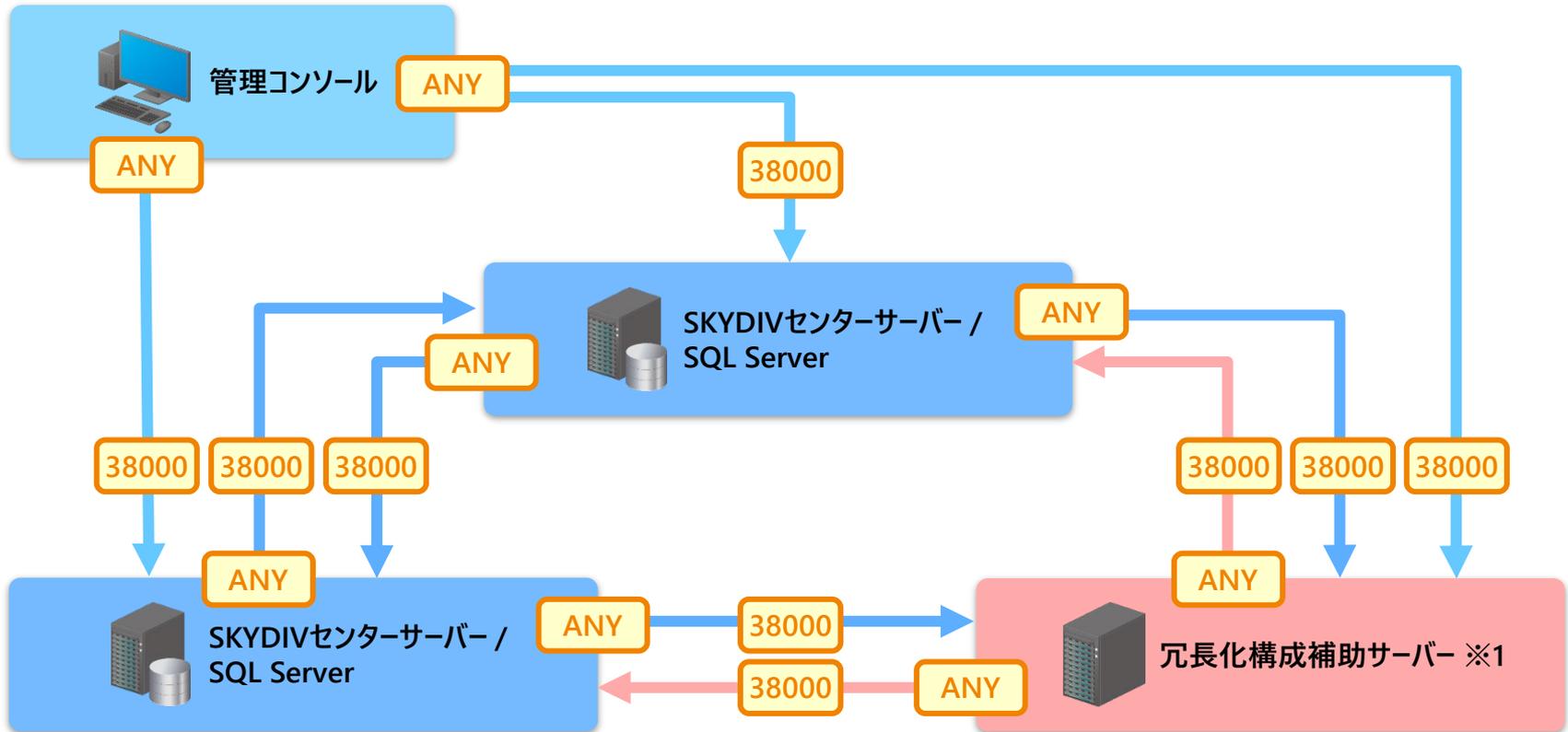
※2 カタログ作成時に指定したポート番号 (1024~65535) から接続上限数まで連番で使用します。

※3 HTTPS/HTTP で利用するポート番号は任意の番号に指定可能です。

# 通信の流れ -4-

## ■ データベース冗長化

ポート番号  
無印=TCP通信、(UDP) =UDP通信



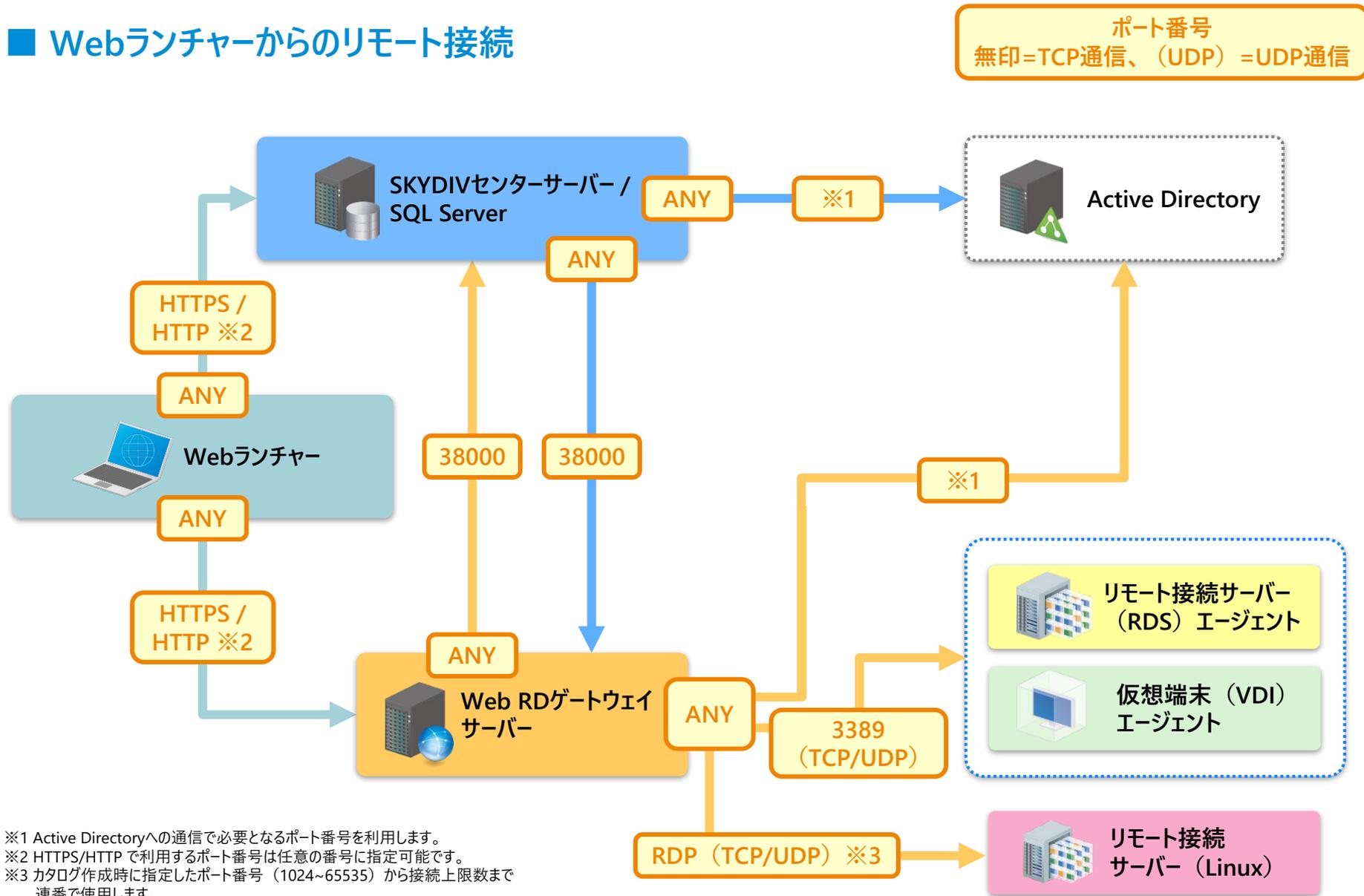
※ データベースは、Microsoft SQL Server Express Editionに対応しております。

※ 1 冗長化構成補助サーバーは、リモート接続サーバー（RDS）/リモート接続サーバー（Linux）/仮想端末制御ホストが自動的に指定されます。他のサーバーに単体でインストールすることも可能です。



# 通信の流れ -6-

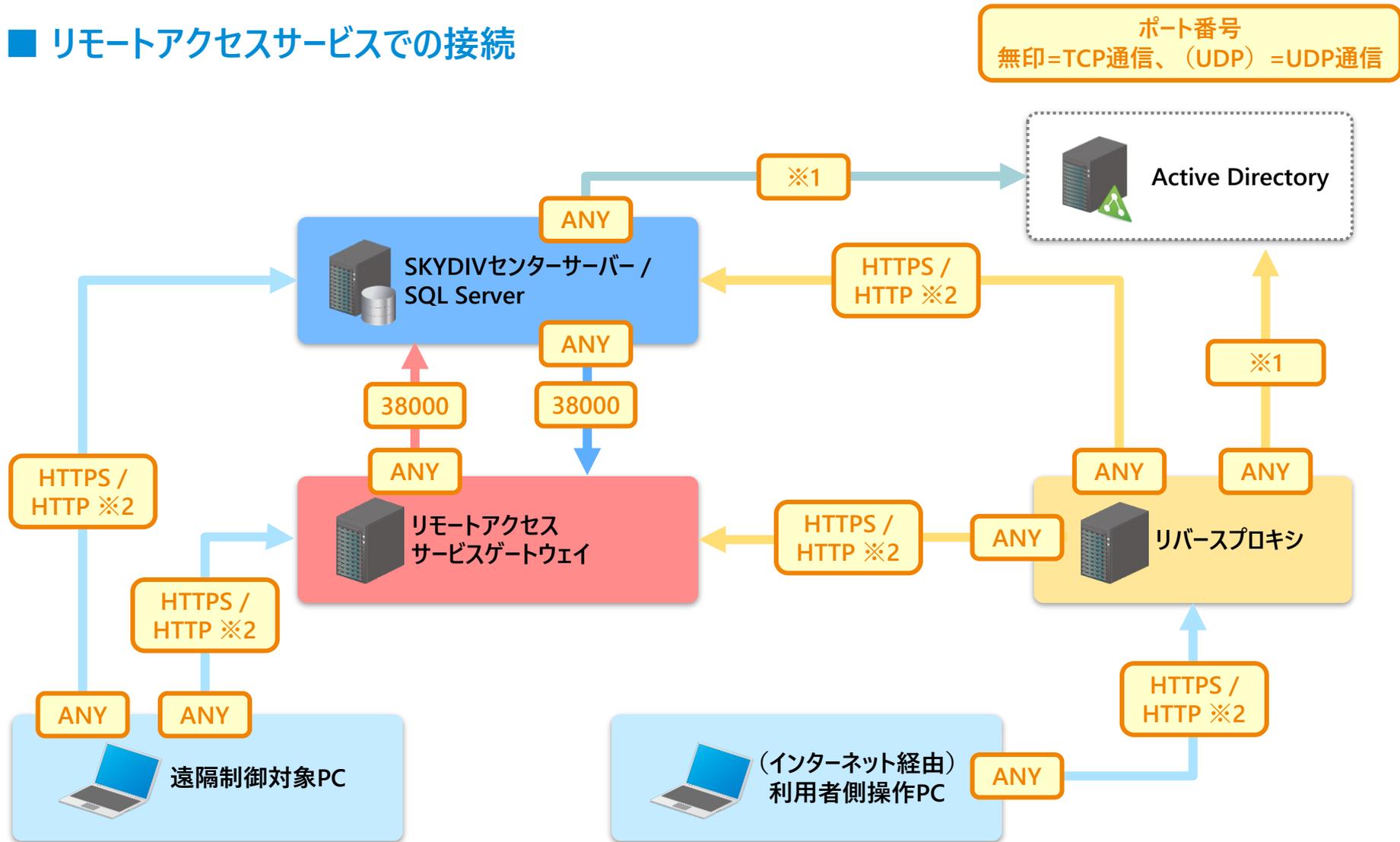
## ■ Webランチャーからのリモート接続



※1 Active Directoryへの通信で必要となるポート番号を利用します。  
※2 HTTPS/HTTP で利用するポート番号は任意の番号に指定可能です。  
※3 カタログ作成時に指定したポート番号 (1024~65535) から接続上限数まで連番で使用します。

# 通信の流れ -7-

## ■ リモートアクセスサービスでの接続



※1 Active Directoryへの通信で必要となるポート番号を利用します。  
※2 HTTPS/HTTP で利用するポート番号は任意の番号に指定可能です。

項目	通信ポート	
1	TCP 38000	SKYDIV Desktop Client の各機能で使用
2	HTTPS / HTTP	
3	TCP 3389	
4	UDP 3389	
5	UDP 3391	
6	SSH	

## 【注意点】

使用するポート番号は初期設定値になります。  
初期値から変更が可能なポート番号は項目1・2です。